

坂出市再生可能エネルギー導入推進計画 第1回策定検討委員会 議事概要	
日時	令和4年9月14日(水) 15時00分～16時40分
場所	坂出市合同庁舎 4階大会議室
議事次第	1. 開 会 2. 市長挨拶(挨拶後退席) 3. 議題 ①坂出市再生可能エネルギー導入推進計画の策定について ②計画策定にかかる全体スケジュールについて ③市民および事業者へのアンケート項目について 4. 閉 会
出席委員	9名(1名欠席)
議事内容 ◆：委員, ◇：事務局	
<p>[事務局からの説明]</p> <p>①坂出市再生可能エネルギー導入推進計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化に対する動向と取組 ・坂出市再生可能エネルギー導入推進計画の位置づけ ・計画の方向性 <p>②計画策定にかかる全体スケジュールについて</p> <p>③市民および事業者へのアンケート項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民, 事業者向けの2種 <p>[全体]</p> <p>◆脱炭素に向けた新規投資とは何を示しているのか。</p> <p>◇既存発電を脱炭素電源に変えていかなければならないが, 企業や事業者の投資のみではコストが増大となり非常に厳しいため, 投資に要するコストを国等の補助で補填していく必要があることを示している。</p> <p>◆目標を具体化して数値で表した方がいいのではないか。細かく計画を作らなければ削減は厳しいのではないかとと思う。</p> <p>◇目標値は必要。</p> <p>ただし, それぞれのエネルギーの年間使用等, 個別の数値目標はなかなか算出が難しい。</p> <p>国が計画目標として掲げる2013年度比で2030年度に温室効果ガス46%削減に準じた目標を掲げる。</p> <p>◆市民をターゲットにしているなら見える化が必要だと思う。一般市民が納得して理解できる, 温室効果ガスの削減を楽しみながらできるような計画を一緒に作って行ければと思う。</p> <p>◇市民の皆さまと地域一丸となり, 脱炭素に向けて計画を作っていく上では, わかりやすさ, 取り組みやすさは重要。</p> <p>今回の策定計画は市民の皆さまにわかりやすい形で示したいと思っている。</p> <p>◆施策により2030年にどれだけ削減できるのかを推定で示すようお願いしたい。</p> <p>◆市民の意識を把握する上で, 地球温暖化防止についてのアンケートを取ることは非常に大事。</p> <p>アンケートから市民の意識と関心を調べ, 実態を見て市民の意識に合わせた計画を立て, 実際に行動に移してもらって, 少しでも地球温暖化に関わっているという意識を持ってもらう事が大事。</p> <p>[アンケート項目について]</p> <p>◆アンケート項目に電力会社を切り替えたことがあるかという設問があるが, 電力会社を切り替えることが脱炭素にどうつながるのか。</p> <p>◇電力自由化＝脱炭素というわけではないが, 自由化に伴い様々な形の電力の供給, 需給の仕方が増えてきている。その動きの中で市民, 事業者の皆さまが電力自由化に対してどういう行動変容をされているかを把握するという趣旨での設問を盛り込んでいる。</p>	

- ◆知識として理解し、意識が高まって行動に移るといふステップが必要であり、理解されることが大切。
日ごろからカーボンニュートラルや地球温暖化への対応を、色々な形で市民と事業者に報告するなど、理解してもらう活動を継続することが必要かと思う。
ベースがあり取組があつて理解が深まって、そして一緒にやりましょうという流れになるのかなと思う。

[その他]

- ◆最近の焦げるような暑さの熱を利用することはできないか。
太陽風呂には使えないか。
市が補助金を出せば普及は増えるのではないか。
- ◆2050年まであと約30年あるので、これからの若い方や子育て世代が住みやすいと思つてもらえることに繋がるような事業をしないといけないと思う。

◇第2回目の会議開催を来年の1月頃に予定している。

以上、閉会